

episode 1

高崎山の冬

高崎山に厳しい冬がやってきました。山は落葉した木々が目立ち、殺風景な様子が一段と寒さを際立たせます。

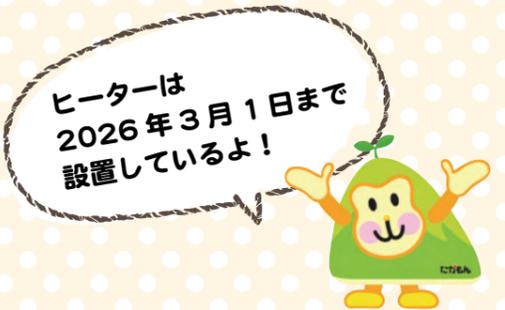
冬の時季でも特に、曇り空で北風が強く吹く寒い早朝に、サル寄せ場には「さるだんご」ができます。

「さるだんご」とは、食べる団子ではなく、寒さをしのぐためにサル同士が体を寄せ合い、おしくらまんじゅうのようにくっついている状態のことをいいます。

多い日には、40～50頭の大きな「さるだんご」ができることもあります。それでも凍てつく寒さは身に沁みます。

そんな日は、お客様用に設置をしている電気ストーブ（おさるの団暖ヒーター）が活躍します。

冬の風物詩「さるだんご」とヒーターの前で暖をとるサルの姿は、私たちに癒しを与えてくれます。



episode 2

おサル達の恋模様

気温が低くなると一気にサルたちの恋が活発になります。この時季になるとオスザルもメスザルも顔とお尻が真っ赤に色づきます。その色づきが1番目立つ代表格がB群第2位の「クリス」です。今シーズンも10月中旬に気温が冷え込んだあたりから顔とお尻が真っ赤になり、一生懸命にメスザルを探しまわっていました。良いパートナーが見つかるといいね！

いいお相手が早く見つかるかな？



episode 3

C群は、何をしていたの？

高崎山自然動物園には、B群とC群の2つの群れがあり別々に山の中で生活をしています。秋は山の実りが多く、サルが山から下りてこないことが増える季節ではありますが、昨年の秋は例年に比べ特にサルが出現しませんでした。

B群は、山からサル寄せ場を下りてきても、2時間ほどで山へ帰ってしまうことが多くあり、また、C群は、10月に山からサル寄せ場を下りてきたのは、たったの4日間しかありませんでした。

では、なぜサルたちはサル寄せ場に現れなかったのでしょうか。

それは、昨年の秋は山の実りが非常に多く、山の中でドングリやアケビなどの自然の食物をたくさん食べることができたことが要因と考えられます。特に、C群側の山は日当たりが良く、実りが多かったためC群の出現が極めて少なくなったと推測されます。

サルにとっては、とてもよい秋となりましたが、スタッフにとっては、サルしかいない動物園にサルがいない時間が多く発生し、とても困りました。



episode4

2025 年度個体数調査

2025年11月20、21、25、26、27日にB群、11月22、25、26、28、29日にC群の個体数調査を行いました。個体数調査とは、サルを数える調査です。

この調査ではどのようにして数を数えるか、ご存知でしょうか？多くの方は、数取器を利用して数える様子を想像されると思います。

しかし、高崎山自然動物園では数取器は使わず、「行列カウント法」という方法でサルを数えています。私たちスタッフと市民ボランティアの方を合わせた40名ほどで、サルが山から下りてくる前に山に登り、5～10mの間隔で一列に並びます。すると、サルが人と人との間を通過するので、自分の前にいる人との間を通過したサルの年齢と性別をノートに記入していき、全員の合計を出します。この調査を5日間行い、頭数の平均値を出しています。

調査の結果、B群514頭、C群246頭、合計760頭でした。調査の間中は、早い日は日の出前から山に登らなければならないので、とても大変です。それでも高崎山にとっては、一年間のサルのエサの量を定める大事な調査です。スタッフ一同、今年もがんばっていきます！

早朝からサルを数えるんだね！



ボランティアの皆さん
お手伝いありがとうございます！



episode5

群れに馴染めないオス B群所属 ダテ (推定17才)♂

高崎山のオスザルは、3才から4才ごろに群れから追い出されます。そこから1頭だけで生活したり、若いオスグループを作って行動したりと、自分が生まれた群れから一度は出ていくのが通例です。そしてその後は、成長するにつれて恋愛の相手を探しに別の群れに近づき、群れに入ると基本的に最下位として弱い立場から始まります。

2019年12月の時点の「ダテ」はC群の下から3番目の推定11才で存在が確認されました。最初はC群に所属をしていましたが、2021年12月にはB群に移籍をしています。B群最下位の15位として再スタートしたダテは、そこからずっと最下位で現在まで過ごしています。ダテの後に移籍してきた「サンダー」「マルオ」「ショット」は、ダテよりも順位が上で確認されています。

ダテは群れに馴染めず、いつも群れの中心部から離れたところで静かに過ごしています。あまりに離れているため、後から移籍してきたサルも自然とダテの上に位置していました。ダテが順位を上げる日を、スタッフは待ち続けています。



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎 3098-1 TEL097-532-5010 FAX097-536-2500

E-mail info@takasakiyama.jp http://www.takasakiyama.jp/

見てみて！ スタッフブログ・フェイスブック・Instagram・Youtubeで高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。

来てきて！ 大分市内の小学生・中学生は入園無料です。学生証などを見せて入園してください。